

地方創生加速化交付金事業 ～2030年笑顔あふれる元気なまちプロジェクト～

背景

〇まち

当町は、8.73k m²のコンパクトなまちですが、伊勢湾岸自動車道をはじめ、国道1号、国道23号などの主要幹線を有し、また、近鉄川越富洲原駅もあることから、交通条件に恵まれたまちです。

〇ひと

当町では、人口ビジョン策定時における分析によると、若い世代の多くは当初、アパート等の借家に居住しているが、町内企業または近隣市町にて就労していることから、結婚や出産等を契機に近郊市町へ転出することが多く、合計特殊出生率を上昇させないパターンで分析した結果では、2045年をピークに人口減少が予想されています（2030年から人口増加が鈍化する予想）。また、転入等による人口増加に伴い、既存のコミュニティと新たなコミュニティが二極化している状況が見受けられます。

このような当町の特徴と課題を踏まえ、町総合戦略では基本的考えの一つとして、「転入する若い世代の定住を促進する」こととしています。これを実現するために、町内外に向けて、当町での子育てのしやすさをアピールし、他市町との差別化を図るため、若い世代（10代～30代）のニーズを施策に反映させ、川越町の魅力、特色を伸ばしていく必要があります。

〇しごと

工業分野において、技術継承、技術革新などへの支援、小売業、サービス業など商業分野においては、経営革新に向けた支援を行うなど、既存企業の留置対策に取り組む必要があります。また、企業誘致をはじめとした、新たな雇用、産業創出にも取り組む必要もあります。

プロジェクトの目的

〇まち・ひと・しごと

川越町は、若い世代を中心に今後も人口増加が見込まれていますが、全国的な少子高齢化の傾向は、当町においても同様です。これまで、医療費助成をはじめとして、子育て支援施策においては、他市町に比べ手厚い支援を行ってきましたが、国・県の方針、また、それぞれの団体が、特色あるまちづくりを進める中で、子育ての分野においては、様々な施策が実施されています。川越町においては、限られた町域の中でも、つばめ児童館、おひさま児童館の2施設を運営するとともに、子育て支援センターを設置し、子育て支援、子育てサポートを行っています。今後も、子育てしやすいまちとしてニーズに合わせた支援策を検討し、若い世代が子育てしやすいまちとして、川越町に移住・定住する環境を整備していかなければなりません。

財政面においては、企業の固定資産税を中心として、これまで安定した財政運営を行ってきました。将来も健全な財政運営を行っていくためには、企業誘致の検討だけではなく、既存企業が、活発で安定的な企業経営を行う必要があります。

人を呼び、しごとを生み・育て、まちの発展に繋げるよう、将来を見据え、多方面からの取り組みが必要です。これまでの事業に加えて、新たな視点で考え、柔軟に事業を検討していく必要があり、また、第6次川越町総合計画に掲げている「協働のまちづくり」の観点からも、若い世代がまちづくりに参加することが必要となっています。

プロジェクト概要

〇まちの魅力を高める

若い世代で、川越町の魅力、特色を伸ばす施策の検討を行い、住民からの事業提案等に繋げ、施策に反映させます。特に当町の特徴である「子育てしやすいまち」のイメージを確立するための新たな子育て支援事業を検討・実施し、既存事業と合わせて、町内外に広くPRしてきます。

移住・定住のターゲットとしている若い世代に住みたい、住み続けたいまちと感じる当町の魅力を、PR映像、パンフレット等により、町内外の若い世代に発信します。

〇まちに人を集める

まちに人を集めるイベント等を検討、企画、開催し、町内外の物産品の販売などを通じて、町民だけではなく、町外からも人を呼び新たな事業を実施し、人を川越町に集めます。

〇まちの産業力を高める

商工会や町内企業と連携し、町の魅力を発信する「Made in Kawagoe」ブランドを育成し、トップセールスをはじめとして、今後実施予定のふるさと納税（ふるさと応援寄附）制度などと連携し、町内企業の活性化に繋げ、さらに民間事業者主導による企業誘致を含めた土地の利活用を検討し、新たな産業、雇用創出に繋がります。

事業展開

川越町プロモーション協議会を核として、多方面から事業を検討していきます。

若い世代のワークショップにより、当町が移住・定住のターゲットとしている同世代のニーズ、課題を把握するとともに、住民が考える解決策の事業化への取り組みを進める。

平成28年度については、地方創生加速化交付金を活用しますが、以降の事業については、独自運営を検討しつつ、行政と協力しながら進めていきます。

方針	概要	役割
川越町プロモーション協議会	若い世代（20代～30代）を中心に、これからのまちづくりを考える8名程度の新たな組織を発足	・本事業の中心となり、様々な取り組みを実施 ・PR映像（コンテスト）、パンフの作成 ・イベントの企画、開催 など 現在実施している各イベントの共催、もしくは、新たなイベントを企画、実施し、川越町を町内外にPRするとともに、「ヒト」を川越町に集める
ワークショップとトップ会談	・中高生ワークショップ ・子育て世代のワークショップ	ワークショップを通じて、若い世代のニーズを把握し、事業化へ繋げ川越町の魅力を伸ばすとともに、新たな魅力を創造する
産業の活性化	商工会・地元企業と連携し、町の物産品をPR	商工会・地元企業と連携し、町の物産品をPRするための新たな手法、制度検討し、隠れた物産品を掘り起こしながら、新たな物産品を創り、「Made In Kawagoe」ブランドに繋げる